

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応指針（令和4年12月16日改定）

※この対応は、目安であり、具体的な対策は、本学、熊本市あるいは全国の感染状況、その傾向（拡大・縮小）及び県等からの要請内容を踏まえ、実施する範囲や内容を含め総合的に判断し、対応方針及び授業実施要領により定める。

| レベル             |               | 授業(講義・実験・実習)  | 研究活動  | 会議・委員会等  | 出張等   | 学生のサークル等活動   | 事務体制  |
|-----------------|---------------|---|---|--|---|--|---|
| レベル4<br>医療機能不全期 | 災害医療的な状況      | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として遠隔授業を実施する。(情報処理実習室等での遠隔授業の受講も含む)</li> <li>必要不可欠な対面授業は、以下の対策を講じた上で実施する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、必要最低限の人数かつ時間で実施する。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として中止又は延期、若しくは書面又はオンラインによる実施とする。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として禁止する。</li> <li>必要不可欠な出張等は、以下の対策を講じた上で実施する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として禁止する。</li> <li>サークル棟は原則使用禁止とする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、県等の要請に応じた時差出勤及び在宅勤務を実施する。</li> </ul>                                      |
|                 | 医療非常事態宣言      | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、感染リスクの高い活動の実施は慎重に検討すること。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、感染リスクの高い活動の実施は慎重に検討すること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、感染リスクの高い活動の実施は慎重に検討すること。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、感染リスクの高い場所等への移動は慎重に検討すること。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の対策に加え、感染リスクの高い活動の実施は慎重に検討すること。</li> </ul>    |   |
| レベル3<br>医療負荷増大期 | 医療ひっ迫防止対策強化宣言 | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で、対面授業、遠隔授業又はそれらの組み合わせなどにより実施する。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で実施する。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で実施するが、状況に応じて書面又はオンラインによる実施とする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で実施する。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で実施する。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策を講じた上で行う。</li> <li>感染・陽性者との接触の可能性等により自宅待機を命じられた場合は可能な限り在宅勤務を実施する。</li> </ul> |
| レベル2<br>感染拡大初期  |               |   |   |  |   |  |   |
| レベル1<br>感染小康期   |               |   |   |  |   |  |   |

※ レベル移行に伴い必要となる措置については、直ちに準備に着手し速やかに実施するものとする。

※ 対応指針は、新型コロナウイルス感染の状況等に応じて、適宜、見直す。